

尼崎市公開事業たな卸し 来場者アンケート結果【事業別】

傍聴されてどう思われましたか

<p>A-1 交通安全教育指導事業</p> <p>廃止 0人 要改善 6人 現状維持 2人 拡充 2人</p>	<p>A-2 交通安全運動事業</p> <p>廃止 0人 要改善 6人 現状維持 3人 拡充 1人</p>
<p>A-3 緑の普及啓発事業</p> <p>廃止 0人 要改善 8人 現状維持 1人 拡充 0人</p>	<p>A-4 尼崎緑化協会補助金</p> <p>廃止 0人 要改善 4人 現状維持 4人 拡充 0人</p>
<p>A-5 花と緑のまちづくり推進事業</p> <p>廃止 1人 要改善 3人 現状維持 3人 拡充 2人</p>	<p>A-6 生活保護安定運営対策等事業</p> <p>廃止 1人 要改善 1人 現状維持 2人 拡充 0人</p>
<p>A-7 若年就業支援事業</p> <p>廃止 3人 要改善 1人 現状維持 1人 拡充 0人</p>	<p>A-8 子育てファミリー世帯住宅支援事業</p> <p>廃止 3人 要改善 0人 現状維持 0人 拡充 1人</p>
<p>B-1 児童育成環境整備事業</p> <p>廃止 0人 要改善 12人 現状維持 0人 拡充 1人</p>	<p>B-2 一時預かり事業</p> <p>廃止 0人 要改善 0人 現状維持 6人 拡充 0人</p>
<p>B-3 地域社会の子育て機能向上支援事業</p> <p>廃止 0人 要改善 2人 現状維持 0人 拡充 4人</p>	<p>B-4 青少年いこいの家指定管理者管理運営事業</p> <p>廃止 0人 要改善 4人 現状維持 0人 拡充 1人</p>
<p>B-5 老人いこいの家運営事業</p> <p>廃止 0人 要改善 5人 現状維持 0人 拡充 0人</p>	<p>B-6 緊急通報システム普及促進等事業</p> <p>廃止 1人 要改善 5人 現状維持 1人 拡充 0人</p>

各事業について

A - 1 交通安全教育指導事業		
1	交通事故の減少は政策指標であり、事業の成果指標ではない。事業成果を説明できる事業内容を考えるべき。	要改善
2	指導者養成ということに力点を置いて、自主的な学習が広がるほうが、より安全性が大きくなると思う。	要改善
3	優先順位や手法の改善について常に考えておく必要がある。	要改善
4	実施している事業内容から、教室を行える団体がいないとは考えがたい。実績がない、ノウハウがないのであれば、団体育成も含めて委託を勧めるべき。	要改善
5	拡充すべきであるが、改善の余地はある。	要改善&拡充
6	交通事故に至る原因を分析し、明確化した上で取り組んで欲しい。	現状維持
7	各学校にルールを守る教育を・・・。	拡充

A - 2 交通安全運動事業		
1	交通事故の減少は政策指標であり、事業の成果指標ではない。事業成果を説明できる事業内容を考えるべき。	要改善
2	優先順位や手法の改善について常に考えておく必要がある。	要改善
3	事業内容が啓発、表彰などであり、委託はなじまないと思う。	要改善
4	啓発等で事故死傷者数を指標とすることは重たすぎるのではないかと、評価指標に係る委員の考え方は全ての事業にもつながる意見だと思う。	要改善
5	委員の方の代案がいくつかでしたが、「代案不適当」と言いたくなるような・・・	現状維持
6	一般人が知らな過ぎる。自転車のルールをもっと知らせること。車と一緒に「原則道路」をしっかりとって欲しい。	拡充

A - 3 緑の普及啓発事業		
1	市のビジョンの進捗状況を判断するため、具体的な数字等成果指標を設定すべき。その中で総合的にアンケートを実施するなら効率的にできるのではないかと。	要改善
2	基本的に現状維持すら難しくなっている。また、担い手が高齢化してきている。	要改善
3	相談業務は受益者負担にはなじみにくいため、緑化基金を呼びかけるのはどうか。規模を縮小してボランティア育成に財源を振り分けるのも良いと思う。担い手は尼崎緑化公園協会が適当。	要改善
4	資料記載の相談内容は常々ブースを設けて実施するのではないかと考える。テーマを決め手講演会を開催したうえで、その中で個別の相談に答えるような手法をとれば、事業費も削減できるのではないかと。	要改善
5	必要な事業であるが、改善の余地はある。緑の普及啓発は「緑のまちづくり」を目指す上で重要。	要改善&拡充

A - 4 尼崎緑化協会補助金		
1	市のビジョンの進捗状況を判断するため、具体的な数字等成果指標を設定すべき。その中で総合的にアンケートを実施するなら効率的にできるのではないかと。	要改善
2	生垣助成など、市民ニーズと合致しなくなっている内容については見直すべき。担い手は尼崎緑化公園協会が適当。	要改善
3	協会の専門性をアピールすることも必要では。	現状維持

A - 5 花と緑のまちづくり推進事業		
1	花を植える人は街の木の下でも植えている	廃止
2	市のビジョンの進捗状況を判断するため、具体的な数字等成果指標を設定すべき。その中で総合的にアンケートを実施するなら効率的にできるのではないかと。	要改善
3	花と緑のまちづくり（花まちの活動）の最終目標は、市の支援なしに自立した活動ができることである。	要改善
4	公民館の生涯学習と同じレベルで考えて緑化に向けて取り組んで欲しい。	現状維持
5	ボランティア会員数の増加は課題だが、この事業により市内に花があらわれていないことから。	現状維持
6	個人会員だけでなく企業や学校などの団体会員や、できるだけお手伝いのパートタイム会員など導入しては。担い手として尼崎緑化公園協会が適当。	拡充

A - 6 生活保護安定運営対策等事業		
1	ケースワーカーの増員などによって、自立支援、就労支援の成果が上がる体制づくりが必要。	要改善
2	市民公募委員については、よく勉強されていたように感じました。	現状維持
3	事業が多く、マトを絞った論議が必要であった。CWの質、量について、根本的な検討が必要であるが、現状では嘱託員の活動に頼らざるを得ないのではないかと考える。	現状維持

A - 7 若年就業支援事業		
1	似たような事業もあると思うので、一度整理が必要だと思います。	廃止
2	学校のスキルアップを中心とする今の事業対象は市がやるべきではない。就労困難者のデータをまず把握するところから始めるべき。	廃止
3	事業の位置づけそのものを改めて問い直し、もっと現場（ニート、当事者）に近いところで問題解決をはかるべき。	要改善
4	行政のできる範囲で行えばいいと思われる。	現状維持

A - 8 子育てファミリー世帯住宅支援事業		
1	小中の子どもがいる世代の流出を防ぐのは教育の充実、大学の誘致。	廃止
2	税金のバラマキにすぎない。	廃止
3	市営住宅を半減し財源にすべき。	拡充
4	治安と教育水準がもっと良くなったりする等しないと、ファミリー世帯が増えることはありえない	未選択

B - 1 児童育成環境整備事業		
1	市民のニーズが考えられていないと感じた。	要改善
2	こどもクラブの委託。	要改善
3	こどもクラブの運営責任はどこになるのか？	要改善
4	コスト削減できるところがある。	要改善
5	子どもの地域との関わりが必要だから、地域のNPOにも開放すればよい。	要改善
6	こどもの居場所の確保はとても重要であるが、委託による実施も検討できる事業だと思います。	要改善
7	もっと両者（こどもクラブと児童ホーム）のカリキュラムを明確にしないとどちらのメリットも結局ばやけてしまうのではないか。	要改善
8	民間委託の余地もあると思われる。	要改善
9	こどもクラブの運営時間帯を拡大して、児童ホームの対象児童を吸収すればよいと思われるが、児童ホーム事業の根拠法令である児童福祉法上の制約についてほとんど議論されておらず、両事業の統合が可能かどうかについて分かりにくい面がある。	要改善
10	あえて市民側の意見としてですが、こどもクラブへの利用を希望しない子供たちの姿を見ると、こどもクラブの中の体制をきちんと検討する必要があると思います。ただし、児童ホームは保護者側の活動もあるので、同一では考えないでほしいと思います。（おやつについても保護者が準備です）	要改善
11	こどもクラブ、児童ホームに分ける必要性が理解できない。子育ては地域で行うもの。地域の自治会、老人クラブ等の奉仕をもっと求めるべき。	未選択
12	こどもクラブは児童館を廃止する時に、小児童館的な位置づけで全児童を対象に実施されたものであり、児童ホームの特定の児童を預かるという主な目的とは異なります。	未選択
13	こどもクラブと児童ホームは似たような事業と思われるがちですが、こどもクラブは不特定な児童が毎日通ってくる、週1回くらいくる子などが多く利用しています。	未選択
14	児童課は最小の予算で、多くの児童の居場所づくりをしていると思います。なくすべきではないと考えます。	未選択

B - 2 一時預かり事業		
1	市民として必要だと思います。委員の意見から整理する必要も再認識できました。一時預かりよりも一時保育的内容も検討して欲しいと思います。	現状維持
2	他の同種の事業との関連性やその他を含めた全体の中での本事業の位置付けを明確にすべきだと思った。（事業を必要とする側に使いやすいメニューを提供するために）事業自身の必要性は否定するものではない。	現状維持
3	市民のニーズの把握の強化が必要	現状維持

B - 3 地域社会の子育て機能向上支援事業		
1	あったら良い事業なのか、なくてはならない事業なのか見えて来ないが、子育て全事業に渡るより広い相談、関与、支援のツールとしてまとまりのある事業への発展を展望できないものでしょうか。	要改善
2	安定した育成支援を行うためにも行政によることの方がいいのではないかと。一定の枠を設ける。	拡充
3	こどもは18歳まで地域の小中高生の関わりをもっと拡充すること	拡充
4	CSWの増員等必要。優秀な方が来て下さっているからできていると思う。	拡充

B - 4 青少年いこいの家指定管理者管理運営事業		
1	PR不足。教育が猪名川町との連携不足。まだまだ改革をやることはあると思いました。廃止云々はそのあとでもよいかと。	要改善
2	利用度を上げていくための工夫、情報把握、営業活動の姿勢が全く感じられなかった。「努力をこれからしていく」では遅い。もっと民間のノウハウを勉強したり、目的・趣旨を外さない姿勢を持たなければならない。	要改善
3	孫が小さいときはよく利用させていただいておりました。クリスマス飾り、しめ縄作り大変良い思い出です。ためになることが多いです。	拡充

B - 5 老人いこいの家運営事業		
1	市は実態把握を。当老人会は毎週金曜日、老人いこいの家事業を行っており、今年度700～800名の参加を見込んでいる。（市提出資料では500名）	要改善
2	地域でのつながりが薄れてきているとされるこのご時世において行政が社会福祉の充実のための策として場づくりを後押しすることは妥当であると思います。ただ、この事業の目的や現状の成果を考えると、使い方や規模など考えていかなければならないと思います。	要改善
3	補助金の使い方の報告がきちんと把握されているのか不信感を持った。内容に出されていたように、これからは実施していく活動に対しての補助で良いと思う。長い間、無意味に執行されているものについて検討していく時期であると思う。	要改善
4	行政側として利用者の意見の聴取代弁をすべきであった。	要改善

B - 6 緊急通報システム普及促進等事業		
1	対象者一人にこのような金銭的にもかける事なのであるか疑問に思った。もっと内容システムについて人件費がかからない方法を見つけても良いと思う。	要改善
2	この事業の存在を市民にもっと周知し、利用者を増やしていくことが大事。「見守り事業」との関連をもっと強調すべき。	要改善
3	緊急通報システムが機能せずに起こった事故（孤独死他）の件数、原因、対策が必要と思う。	要改善
4	社協が介在する意義がもうひとつ理解できない。	要改善
5	社協に委託していることについては、意義があると感じるが、その検証をした上で、改善が望まれる。	要改善
6	サービスを受けている当事者の意見がない。なぜ協力員が2名必要なのかを説明して欲しいと思った。	現状維持
7	何も無いのに少ない年金なのに1,000円は高い	廃止